

危ない！こんな家が火災になりやすい

あるお宅で、たばこ火の不始末が原因で火災が発生し、住宅の一部を燃やし消し止められました。

このお宅では、居間や台所に生活用品やごみ類が多量に山積みされており、足の踏み場もなかったとのことです。

火災が発生しやすい住宅として、**物品が乱雑に置かれていたり、整理・整頓がされていない傾向が多く見受けられます。**

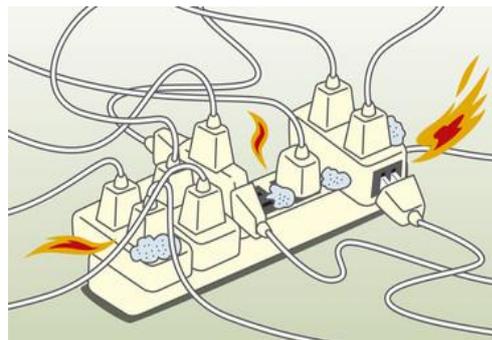
下記を参考に自宅内や自宅周りの火災予防・点検に努めましょう。

① 電気コードの損傷・たこ足配線になっている

コードに折れ曲がりがあったり、引っ張ったり、家具で踏みつけたりするとコードが傷ついてショートし、火災の原因になります。

また、たこ足配線も電気機器が過熱し火災につながります。

- ・コードの折れ曲がり、家具等の下敷きに注意する。
- ・コードを束ねて使用しない。
- ・テーブルタップは、決められた容量内で使用する。
- ・コンセントは定期的に乾いた布などで掃除する。



② 防火意識の低い喫煙者がいる

たばこ火は小さな火種ですが、その温度は約 800 度にもなり、とても危険です。

- ・たばこは、布団やベッドの上では絶対に吸わない。
- ・飲酒しながら喫煙しない。
- ・吸い殻は水につけて完全に消火する。
- ・灰皿に吸い殻をためない。

③ 室内の物品が多く、整理整頓されていない

台所や各部屋に物品が多く、整理整頓ができていない家は、わずかな火種であっても火災につながる危険があり、延焼拡大しやすく消火も困難になります。

- ・ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- ・こんろ周りは日頃から清掃する。



④ 家の周りに可燃物を置いている

自分では十分注意していても心ない人に放火されて大きな火災になってしまう可能性があります。

- ・可燃物は人の目の届かない場所に保管する。
- ・夜間は門灯や玄関灯を点ける。
- ・物置や車庫は施錠する。



盛岡地区広域消防組合消防本部